

## 知床世界自然遺産地域年次報告書に関する提案

適正利用・エコツーリズム WG 座長  
敷田 麻実

知床世界自然遺産地域年次報告書について、管理計画の進捗状況の確認や遺産地域の保全管理状況が明確になるステータスレポート化を図るために、来年度発行のものから順次以下の方針と内容に移行したい。

## 今後の編さん方針

管理状況とその時点の課題がわかる媒体とする

管理の目標と管理の実行状況が明確になるように記載する

モニタリングや研究データは付録または別冊として、一覧性を高める

外部関係者に知床世界自然地域の現況が説明できる媒体とする

報告書から統一的に各種 PR 教材や広報資料が作成できる統一データベースとする

## 年次報告書の内容

## 要約

生態系と利用に関する概況説明

事業や予算の集計、管理に係る行政機関の人員などの概況

今年のトピック一覧

## 1 知床世界自然遺産地域の管理の理念と目標

管理の理念と方針

管理計画の概要

管理区域とその定義

## 2 知床世界自然遺産地域における問題と今後の課題

今年度時点での課題とその解決状況を明記

## 3 知床世界自然遺産地域の生態系の現況と評価

生態系の動向、生態系ユニットごとに簡潔にまとめる

モニタリングの実施状況

## 4 知床世界自然遺産地域の利用状況と評価

漁業、観光、レクリエーション、その他の産業などの利用状況を簡潔にまとめる

## 5 知床世界自然遺産地域管理計画の実施状況と評価

(1) 省庁別関係ハード事業およびソフト事業の実施状況

実施主体、予算、概要のみ一覧表にして簡単に記述

(2) 管理体制

管理体制の解説と各種会議の開催状況

関係機関の体制と人員配置

(3) 現行の規制・制度の概要

6 管理実施の総合的評価

7 付録

年次報告書の活用手法

一般利用者や地域住民への普及啓発を目的として、各種モニタリング結果等を分かりやすくとりまとめたアウトルックレポートをとりまとめ、普及啓発などに活かすことを将来的には検討してはどうか。